

2021 年第 68 回応用物理学会春季学術講演会シンポジウム (technical) T19

相変化メモリ材料の進展と将来展望

オンライン開催

2021 年 3 月 17 日(水) 13:30~18:00(予定)

相変化メモリ開発の進展には、近年、目をみはるものがあります。この相変化メモリには非晶質材料が用いられていますが、この材料についての基礎的かつ戦略的な研究は、物性の深い理解と新しいデバイスの創造のために重要と考えられます。

本シンポジウムでは、相変化メモリ材料に関する物性とデバイス応用に関する現状を整理し将来を展望するため、世界的な研究を精力的に進められている方々をお招きし、最新の研究成果をご紹介します。当分野のさらなる発展の機会とするべく、活発な意見交換の場となれば幸いです。

招待講演者(敬称略、五十音順)/講演題目(予定)

後藤民浩(群馬大)

相変化メモリ・セレクト材料の局在準位評価

齊藤雄太(産総研)

カルコゲナイド系相変化材料の発展と今後の展望

嶋川晃一(岐阜大)

GST 相変化材料の電氣的、光学的性質：解釈をめぐる問題点

須藤祐司(東北大)

省エネ・高速化に向けた新相変化メモリ材料開発

中岡俊裕(上智大)

相変化材料における Ag の異常拡散 — ナノワイヤ形成からガンマ線検出まで —

◎ 本シンポジウムでは一般講演も募集しております。

世話人 吉田憲充(岐阜大、代表)、斎藤 全(愛媛大)、本間 剛 (長岡技科大)